

融合する多民族国家

多民族国家として絶妙な調和で形成されているのがシンガポールである。中国系、マレー系、インド系を主体に日本も含め世界各国の人種が集い合って生活している。まるで地球家族の縮図を見る思いがした。

日本は大多数が日本人で占められている。最近では観光客として見るからに外国人と分かる人から、話す言葉によって外国人と判断が付く人も目立ってきた。しかし日常的には外国人と接する機会はない地域がほとんどだ。

シンガポールは多民族国家ではあるが、日本人からするとあまり違和感がないのは人口の77%を中国系が占めるからであろう。同じような顔と体つきをしているからだ。街の中華料理店に入ってもまるで日本で食事をしているような錯覚を覚える。しかし注文を受ける時に中国語が飛び交うとやっぱりここは外国なのだと思わせる。

街中を歩いていると様々な民族衣装を身につけた人に出くわす。頭からすっぽりと真っ黒な布を纏う女性。スカーフを付けた女性。ターバンを巻く男性。サリー姿の女性。半ズボン穿いた白人。Tシャツから背広姿まで様々だ。見ていて飽きない。それぞれがこの国で生活する自分流の服装なのであろう。

世界の国数は196か国。民族の数は一説には3200あるとか。これを正確に知る必要はない。我々は国も民族もそこに壁を設けるのではなく、人間一人一人が違うように国を超え民族を超え、宗教、言語等のあらゆる全てを乗り越えた地球運命共同体なのだ。地球家族として家族仲良くいつまでも思いやりをもって生きていきたいものだ。



撮影 2014 年秋

